

2010年10月28日
カーボンフットプリント制度試行事業事務局

各検証方式の内容について (イメージ)

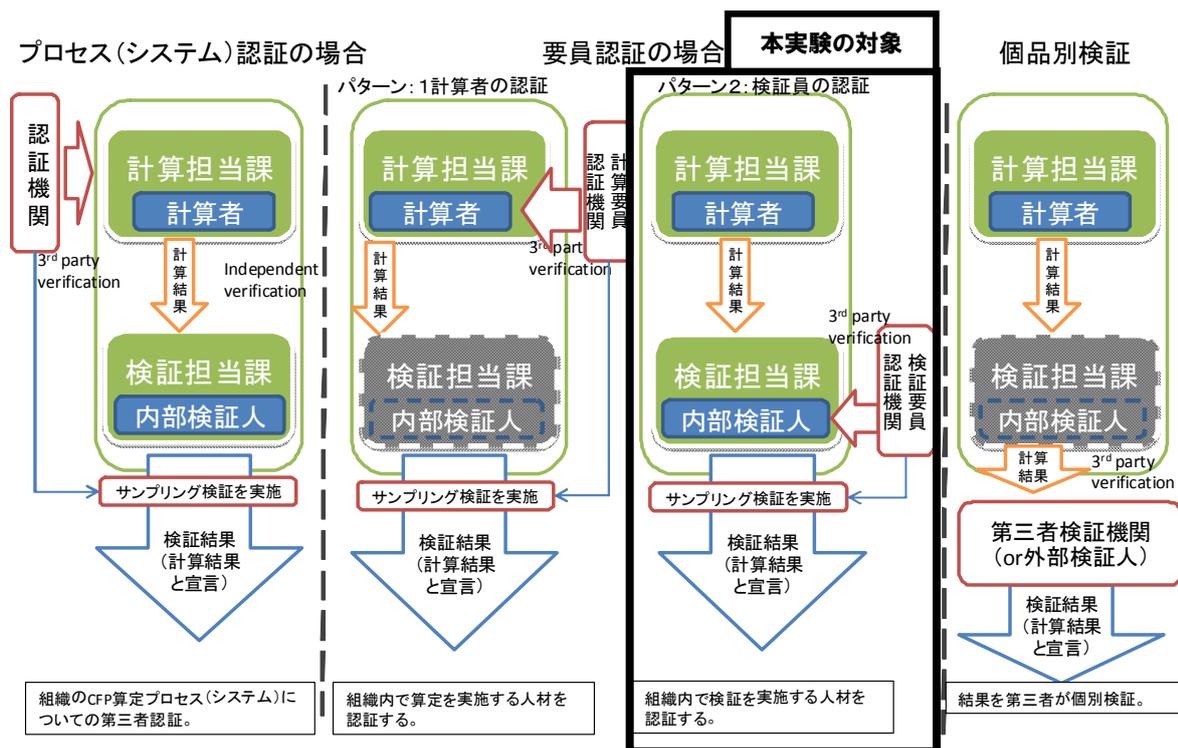


図 検証方式の概要

個別品検証

- 現在 CFP 制度試行事業で行われている検証方法であり、事業者内部の計算者が算定した CFP の計算結果を個品毎に第三者の検証機関あるいは検証員（外部検証員）が検証する仕組み。第三者による検証の結果、計算結果が適当と認められた場合にのみ CFP マークが付与される。

プロセス(システム)認証

- 個別品検証とは異なり、事業者が、内部に CFP を算定する仕組み（プロセス（システム））を構築し、そのプロセス（システム）を第三者の認証機関（認証員）が審査する仕組み。第三者による審査の結果、そのプロセス（システム）が適当と認められた場合、認められたプロセスで事業者が算定した CFP に、外部検証無しで CFP マークが付与される。事業者内部の検証はプロセス（システム）に含まなければならない。

要員認証(本実験の対象)

- ・ プロセス（システム）認証が、プロセス（システム）の第三者による審査を受けなければならないのに対し、要員認証では、検証員あるいは計算員の第三者による認証を行い、その要員が検証あるいは計算を行った CFP に、外部検証無しで CFP マークが付与される。

(注)上記の説明は、現在、検証スキーム検討委員会で検討されている内容をもとに作成しておりますが、説明の内容は確定された事項ではないことにご留意ください。

以上